

第5回 田野畑村新庁舎建設検討委員会

日時：令和6年2月26日（月）13：30～

場所：アズビィ楽習センター 会議室

次 第

- 1 開会
- 2 議事
 - ・行政拠点の配置と連携について
 - ・検討結果の報告について
 - ・その他

<配布資料>

行政拠点の配置と連携について ----- 資料No.1

田野畑村新庁舎建設検討委員会報告書（案） ----- 資料No.2

行政拠点の配置と連携について

1 行政拠点施設や機能の集約化において、現状考えられる案は下記のとおり。

(1) 施設コスト面

- ア 機能を新庁舎に集約し、既存施設は民間の団体等で活用する。
- イ 分散配置を維持し、既存施設をそのまま使い続ける。既存施設の老朽化が進んだ段階で改めて集約化を検討する。
- ウ 機能を新庁舎に集約し、既存施設は解体する。
- エ 機能を新庁舎に集約し、既存施設は空き施設とする。
- オ 機能を新庁舎に集約し、既存施設は他の公共部門で活用する。

※ アからオの順にライフサイクルコスト(建設・維持に必要な費用等)が高くなる。

※ イ、ウについては、詳細なコスト比較が必要となる。

(2) 組織・機能面

- ア 現行のとおりとする。
- イ 現行のとおりとしつつ、来庁者の行き来が生じている手続き等について、組織体制の見直しなどにより解消を図る。
- ウ 現行の施設及び新庁舎の双方に一定の機能を配置する。
- エ 新庁舎に組織を移しつつ、現場機能を既存施設に残す。
- オ 組織としては新庁舎に移転し、必要がある際は職員が既存施設に出向く。

2 施設の老朽化度合い、事務処理の状況、役場の人員体制等を勘案すると、

(1) イ + (2) イ または (1) イ + (2) エ

の組合せが現実的なものと考えられる。

令和 6 年 3 月 日

田野畑村長 佐々木 靖 様

田野畑村新庁舎建設検討委員会
委員長 内田 信平

田野畑村新庁舎建設検討委員会報告書

田野畑村新庁舎建設検討委員会の検討が終了しましたので、下記のとおり報告致します。

記

本委員会は、新庁舎建設基本構想策定に必要な事項等を検討するために設置されました。

令和元年に検討された、田野畑村役場庁舎基本構想（素案）を土台として、村民の目線に立ちながら、これまで5回にわたり協議検討を重ねてきました。毎回、活発な議論と建設的な提案が行われ、庁舎建設を進めるうえでの基本的な方向性を示すことができたのではないかと考えております。

今後、新庁舎建設に当たり本委員会の意見が十分に反映されるよう本報告書を尊重いただきますとともに、多くの村民の意見が反映された庁舎となるよう要望します。

1 基本コンセプトについて

・田野畑村役場庁舎基本構想（素案）で設定された整備コンセプト及び基本方針は、住民を交えた検討委員会で議論を重ねてまとめられたものであり、庁舎建設の目指す姿として申し分ないことから継承していくことが望ましいこと。

■整備コンセプト

「まちの拠点として、人と物の流れを創出し、持続可能な開かれた庁舎」

■基本方針

- 1 「みんなに愛され、交流や協働を支える庁舎」
- 2 「柔軟で働きやすく、誰もが快適に利用しやすい庁舎」
- 3 「時代の変化に対応しながら快適で安全に使い続けられる庁舎」

2 庁舎に求められる機能・サービスについて

- ・整備コンセプトを実現するために必要な、①窓口機能、②交流・賑わい機能、③執務機能、④ユニバーサルデザインの導入、⑤防災機能、⑥環境にやさしい技術の導入—の6項目について、検討を行い、庁舎に求められる機能・サービスを別紙1のとおりまとめたこと。
- ・導入する機能・サービスの決定に当たっては、過度な設備等を導入することなく、必要な機

能を選択すること。

- ・機能・サービスの導入に当たっては、他の行政施設との連携及び役割分担の検討や補助金等の活用等により、財政負担の削減を図ること。

3 行政拠点の配置と連携について

・

4 建設候補地について

- ・旧岩泉高校田野畑校及びアズビィ楽習センター南側の村有地2カ所、田野畑村役場庁舎基本構想（素案）で候補地として検討されたアズビィ楽習センター北側の計3カ所について比較検討を行い、それぞれの候補地について良い点と課題を別紙2のとおりまとめたこと。
- ・財政負担の軽減の観点から、村有地への建設が望ましいこと。なお、民有地取得の必要性が生じた場合には、必要最小限の取得にとどめること。

庁舎に求められる機能・サービス

1. 窓口機能

求められること	設けるもの・整備すること
どこに行けばよいか来庁者がすぐにわかる	総合案内 分かりやすい庁舎案内
プライバシーの確保	プライバシーに配慮した面談スペース
村民の誰でも安心して利用できる	椅子のある待合スペース キッズスペース 車いすでも使えるカウンター

* 要検討事項：他の行政施設との連携、集約化

2. 交流・賑わい機能

求められること	設けるもの・整備すること
村民が気軽に立ち寄ることができる	子どもの作品などを展示できるスペース 飲み物の販売
村の各種情報を得ることができる	インフォメーション（行政情報・観光情報等）
ちょっとした買い物ができる	村民向けに販売できるスペース
屋外でのイベントができる	屋外広場

* 要検討事項：アズビィとの役割分担

3. 執務機能

求められること	設けるもの・整備すること
職員が効率よく快適に仕事できる環境	職員が使いやすい執務スペース 無駄のない動線の計画 空調（エアコン）の整備
情報化への対応	LAN、wifiの整備
いろいろな形式の会議ができる	用途に応じて広さを変えられる会議室 村民が利用する会議室は1階に配置 議場を会議室として利用することも検討
書類等を効率的に保管できる	まとまった保管スペース スライド書架等の利用
来庁者にも使いやすいこと	村民がよく利用する課は1階に配置 来庁者用コピー機 FreeWiFiの整備（強化）

4. ユニバーサルデザインの導入

求められること	設けるもの・整備すること
来訪者がアクセスしやすいこと	広い駐車場 屋根のある車寄せ 屋根のある優先駐車スペース バス停の設置
誰にとっても安全で使いやすいこと	多目的トイレ 車いす対応 キッズコーナー 授乳室 エレベーター
誰にとっても必要な情報が確実に伝わる	わかりやすい案内表示 多言語への対応

5. 防災機能

求められること	設けるもの・整備すること
災害時に防災拠点としての機能を保つ	高い耐震性の確保 情報収集のしくみ 情報伝達のしくみ 備蓄スペース 自家発電設備
宿泊する職員への対応	宿直室 シャワー

* 要検討事項：敷地の安全性

6. 環境に優しい技術の導入

求められること	設けるもの・整備すること
省エネルギー	断熱化 自然採光の利用 自然通風の利用 設備・備品の省エネ化
再生可能エネルギーの利用	太陽光発電 木質バイオマス熱利用の検討
ライフサイクルコストの低減	変化に対応しながら使い続けられる計画 メンテナンスの負担の少ない計画
地域の木材の活用	内装木質化・木造化

* 要検討事項：各種の補助金の活用

建設候補地の比較

主な特徴	候補地①		候補地②		候補地③	
1 場所	旧岩泉高校田野畑校敷地 		アズビィ楽習センター南側 		アズビィ楽習センター北側 	
2 敷地の概要	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は約6,850㎡ 村有地 		<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は約3,450㎡ 村有地 		<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は約10,595㎡ 民有地 	
3 敷地・立地の特徴	<p>(良い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平坦な土地 敷地面積が広い 平屋の建設が可能 広い駐車場の整備が可能 高台で見晴らしがよい 	<p>(課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日当たりが悪い 	<p>(良い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平坦な土地 	<p>(課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地面積が狭いため、建物や駐車場の狭くなる 隣接地が民有地のため、取得する場合には、取得費用が掛かる 	<p>(良い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地面積が広い 広い庁舎や平屋の庁舎が建設可能 広い駐車場の整備が可能 	<p>(課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民有地のため取得費用が掛かる 地盤に不安あり。造成に費用が掛かる可能性がある
4 アクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> 国道からのアクセスが良い 	<ul style="list-style-type: none"> 上り坂になっている。 高低差があるため、徒歩での利用には不便 	<ul style="list-style-type: none"> 四方が道路に面している 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス道路がやや狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 二方向の道路に面している 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス道路がやや狭い
5 既存施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> 災害時などに中央防災センターと連携しやすい 旧若桐保育園施設の活用が可能 		<ul style="list-style-type: none"> アズビィ楽習センター、体育館、ホールと連携しやすい 		<ul style="list-style-type: none"> アズビィ楽習センター、体育館、ホールと連携しやすい 	
6 その他		<ul style="list-style-type: none"> 中心部からやや離れており、地域への経済波及効果が弱い 遊休施設があり、景観が悪い。遊休施設の活用や集約化が課題となる 	<ul style="list-style-type: none"> 商店や飲食店が近く経済波及効果が期待できる 避難所対応がしやすい 将来的な集約化も可能 	<ul style="list-style-type: none"> イベント時にスペースが狭い 民家が隣接している 	<ul style="list-style-type: none"> 商店や飲食店が近く経済波及効果が期待できる バスターミナルの設置が可能 	
7 総合評価	村有地であり、面積が広いことによる余裕のある計画が可能である。村の中心部からやや離れており、住民アクセスと経済的な波及効果の面では、他の案より不利である。		村有地であり、アズビィ楽習センター等の既存の施設との連携がしやすい。他の案と比較すると面積が狭いため、コンパクトな計画にするとともに、イベント時等の駐車スペースの確保が必要となる。		面積が広く、余裕のある計画が可能である。ただし、民有地であるため、取得のための費用が必要となる。	